

KSP DEEPTECH STUDIO

第4期 事業化検討プロジェクト

2025年12月1日～2026年2月28日



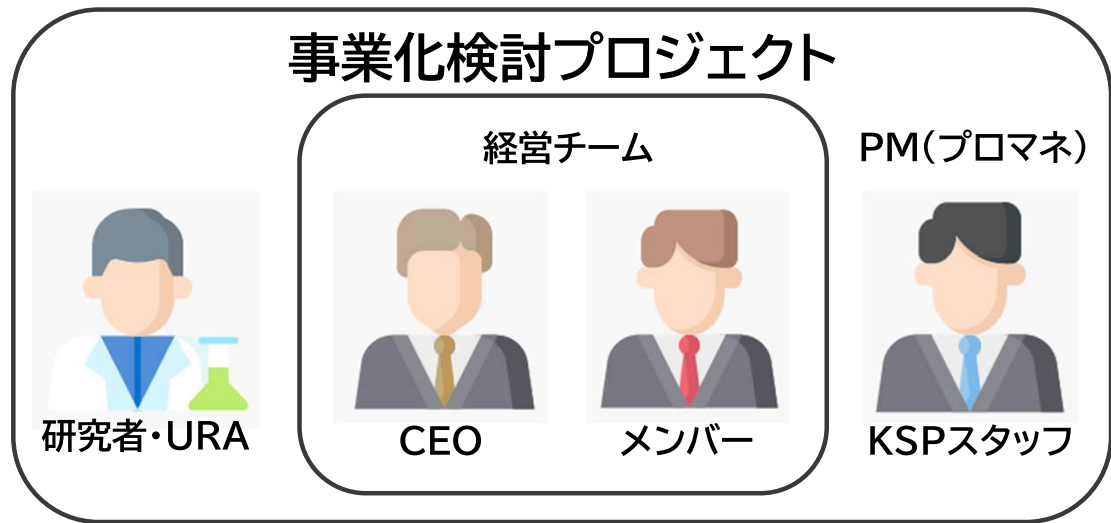
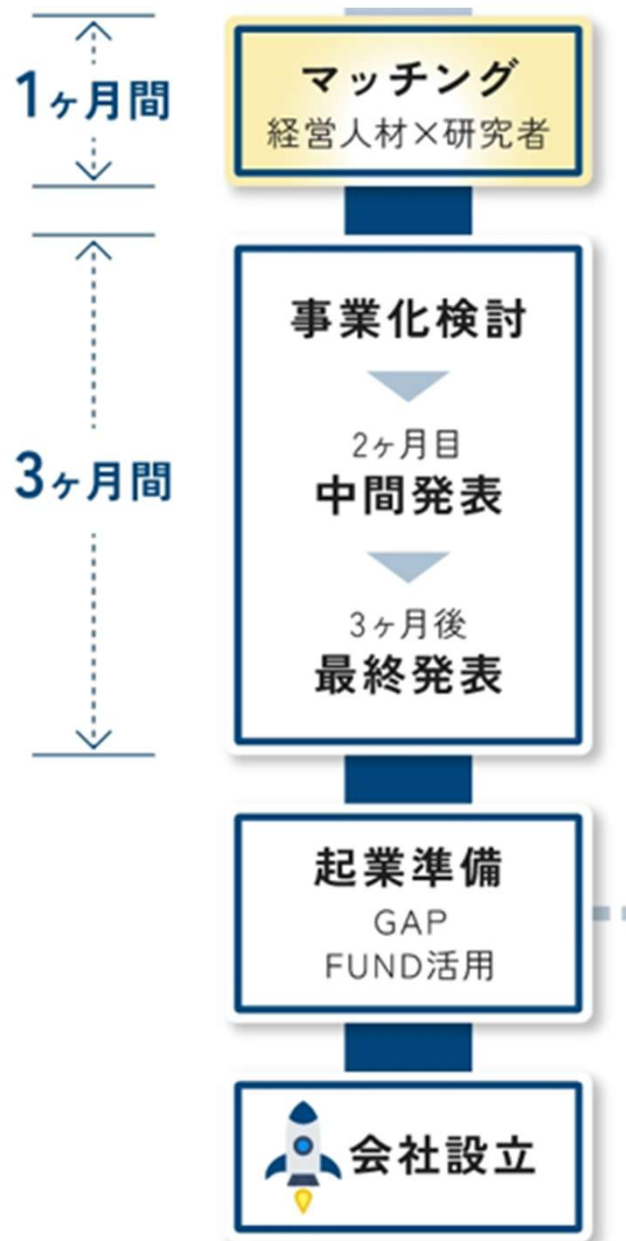
株式会社 ケイエスピー

KSPのサポートを受けて、研究成果の社会実装・起業の検討をしませんか

- 現在、大学からの起業を後押しする事業が増えており、今まではほんの一部の研究者が興味を持っていた社会実装や起業という取組に、多くの研究者が興味を持ち始めています。
- それに伴い、研究者の起業を支援する人材も求められていますが、どこの大学でも人材が不足しており手が回っていないというのが実情と思います。
- 本事業は副業の経営人材とチームを組成し、期間限定で事業化検討を行うプログラムです。
- 研究者が経営人材と一緒に3ヶ月の事業化検討プロジェクトを実施することで、研究者の社会実装スキルが飛躍的に向上することが既に実証されています。
- 社会実装・起業に興味を持つ大学関係者の皆様は、ぜひ本事業にご参加頂ければと思います。



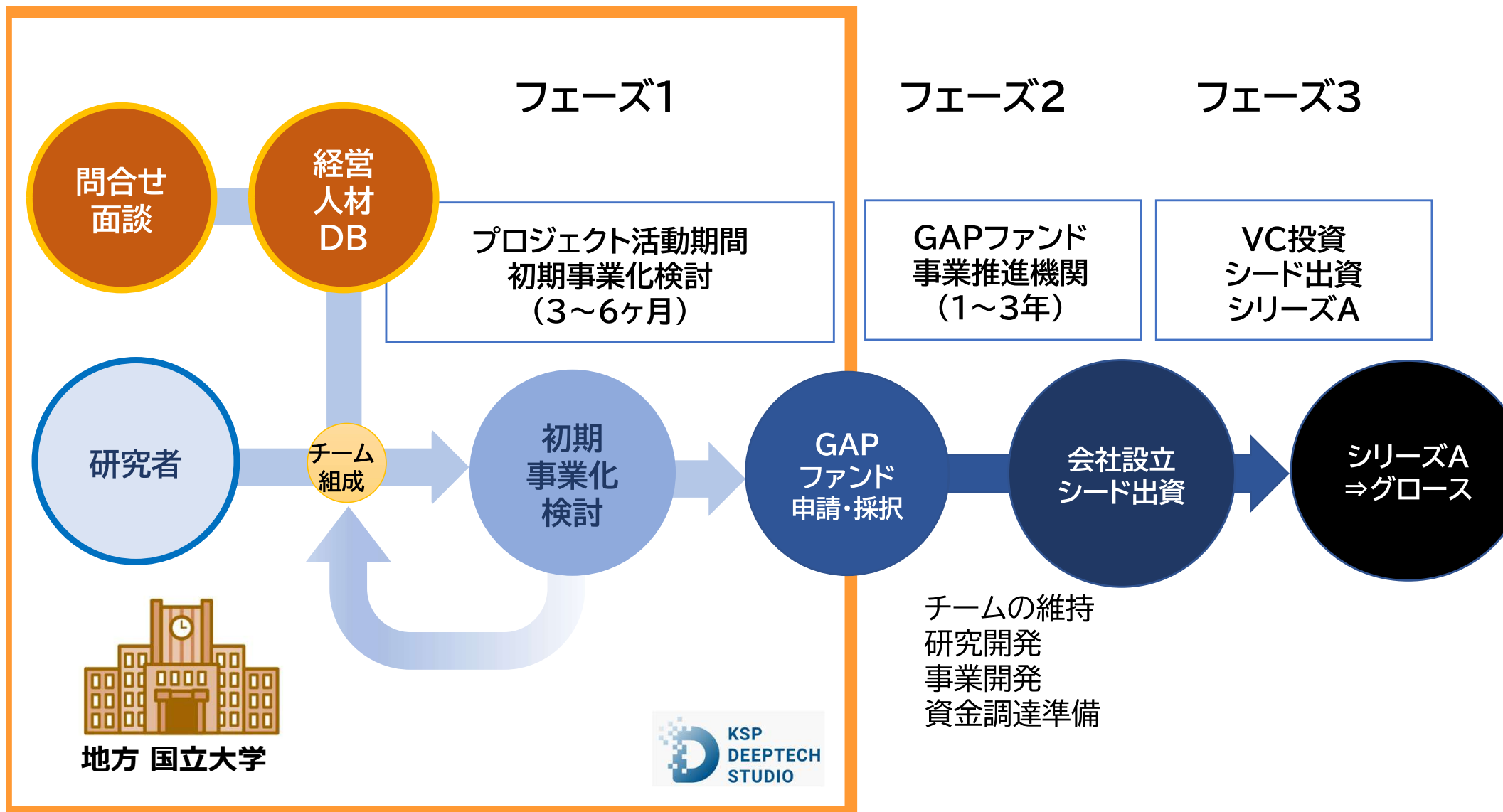
事業化検討からスタートアップ設立までの流れ



- 事業化検討プロジェクトでは、用途仮説が定まっていない研究シーズの事業化を検討することからスタートし、想定される用途、顧客を見つけ出し、実際に想定顧客にインタビューを行っていくことで実用化の障壁となるポイントを明確にしていきます。
- 3ヶ月後にすぐ起業できることはまれで、事業化のためのGAPファンドを獲得し、顧客がPoC可能なレベルまで研究を加速することが必要となるケースが多いです。

事業化検討からスタートアップ設立までの流れ

経営チーム組成、事業化検討、GAPファンド獲得、起業準備、資金調達までをシームレスに支援



第3期プロジェクト参加大学からの声

「KSP Deeptech Studio」は、研究の社会実装を目指す先生の「最初の一歩」にうってつけの、非常にユニークかつ実践的なプログラムだと思います。

- GAPファンドを目指すフェーズ(まだ事業化の構想を練る/詰める段階)において”仲間探し”ができる
- 「ドメイン理解のある(実業経験豊富)」「マチュアな(大人な)」経営人材の方々が多く参画されている
- 経営人材の方々と先生の相性を踏まえた丁寧なマッチング＋プログラム運営/ファシリテーション経験が豊富なプロマネ人材のアサインにより、プロジェクトが着実に前に進む

今回(第3期)は本学からは2名の先生をサポート頂いていますが、今後も継続的に幅広い先生のサポートをお願いしたいと思っております。
引き続き、よろしくお願い致します。

フェーズ1→2進んだプロジェクト



第1期修了(2024/4-6)

東京科学大学 生命理工学院 教授 上野 隆史 & 経営人材 2名

「革新的な酵素ソリューションを生み出すタンパク質結晶材料事業」

GTIE GAPファンド エントリー採択(500万円)

海外市場開拓コース 採択(1年間 2800万円) 起業準備中

Tokyo Tech Gap Fund 2024 デモデイ グランプリ



第2期修了(2024/11-2025/1)

埼玉大学 大学院 理工学研究科 准教授 塩田 達俊 & 経営人材 4名

「産業と医療へ展開する高速・非接触光3次元形状検査装置の開発と事業化」

IJIE GAPファンド ステップ2 採択(3年間 6000万円) 起業準備中

第7回栃木テックプラングランプリ最優秀賞(主催:リバネス)



第2期修了(2024/11-2025/1)

信州大学 先鋭材料研究所 助教 大塚 隼人 & 経営人材 3名

「高速気体分離膜を用いた革新的酸素富化技術の実現」

IJIE GAPファンド ステップ2 採択(2年間 3000万円) 起業準備中

TOKYO PRIZE Carbon Reduction入賞(主催:ANRI)

フェーズ1→2進んだプロジェクト



第1期修了(2024/4-6)

東京科学大学 化学生命科学研究所 助教 本田 雄士 & 経営人材 3名

「新規薬物送達法(ドラッグデリバリーシステム)を用いたバイオ医薬品の開発」

GTIE GAPファンド エントリー採択(500万円)



第2期修了(2024/11-2025/1)

信州大学 工学部物質化学科 教授 酒井俊郎 & 経営人材 4名

「革新的な酵素ソリューションを生み出すタンパク質結晶材料事業」

IJIE GAPファンド ステップ1 採択(500万円)



第2期修了(2024/11-2025/1)

福井大学 学術研究院工学系部門 教授 藤田聡 & 経営人材 2名

「エレクトロスピンニング法で吹き付けるハイドロゲルナノ繊維癒着防止材」

TeSH GAPファンド ステップ1 採択(500万円)



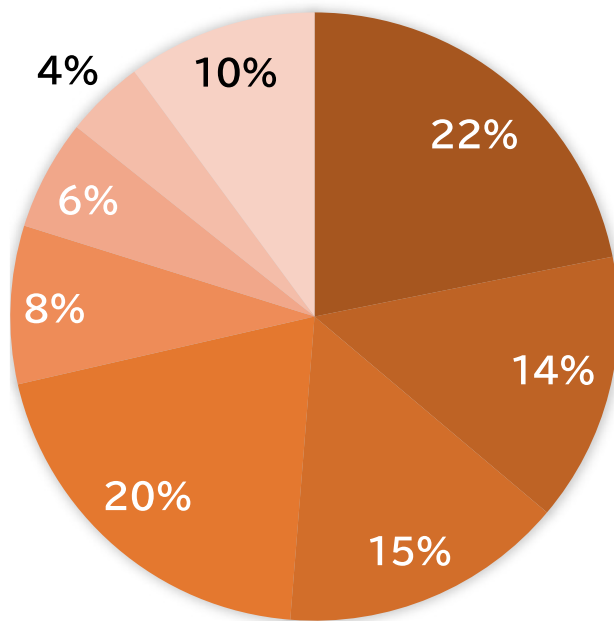
第2期修了(2024/11-2025/1)

東京科学大学 総合研究院 助教 山田 哲也 & 経営人材 3名

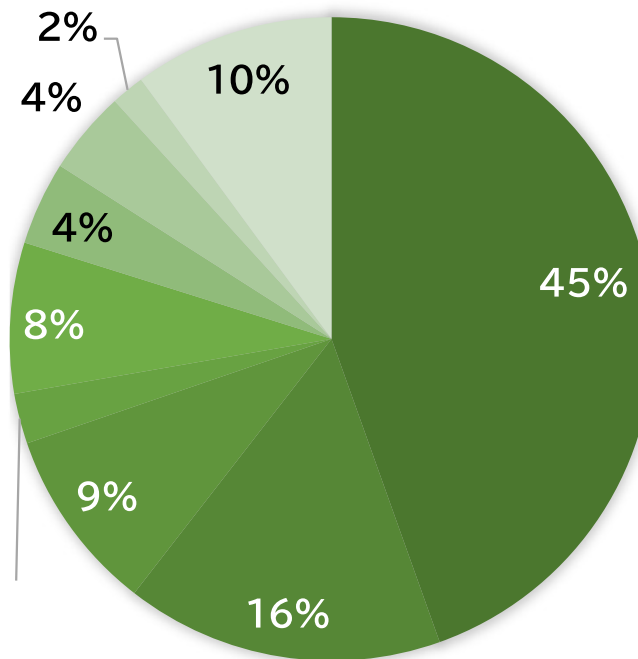
「自立分散型エネルギー社会構築に向けた超小型固体酸化物形燃料電池の事業化」

GTIE GAPファンド エントリー採択(500万円)

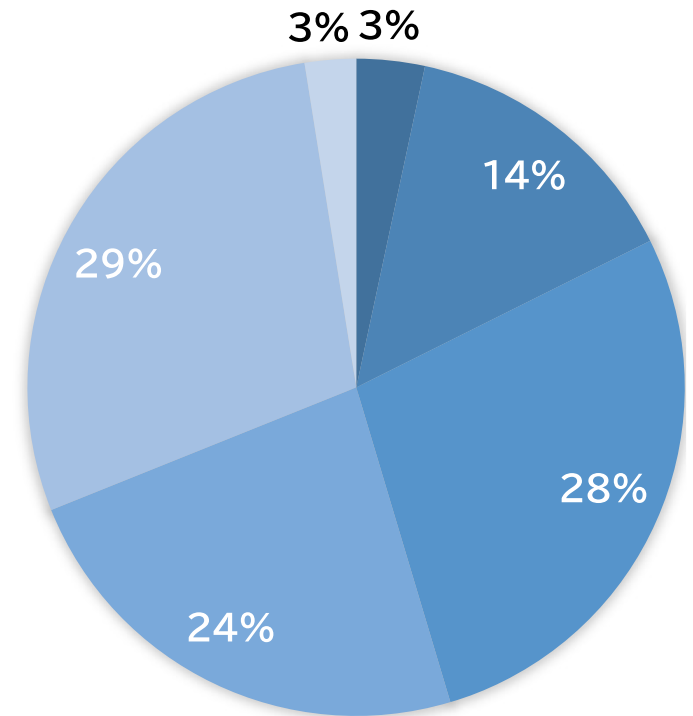
経営人材のプロフィール



- ライフ・メディカル
- 情報通信
- 化学・食品・化粧品
- 電機・機械
- 金融
- 研究機関
- 専門職
- その他



- R&D・事業開発
- CFO・財務
- コンサルタント
- 技術営業
- 経営者
- 弁護士・弁理士・知財
- 投資・M&A
- 会計士・税理士
- その他



- 20代 ■ 30代
- 40代 ■ 50代
- 60代 ■ 70代

**7割が大手製造業
半数が理工系出身で新事業経験
4～50代でマネジメント経験**

支援した研究者の所属大学

- ・ 北海道大学、北海道医療大学
- ・ 岩手大学
- ・ 長岡技術科学大学、福島県立医科大学
- ・ 信州大学、群馬大学、埼玉大学、山梨大学
- ・ 東京大学、東京科学大学
- ・ 芝浦工業大学、日本大学
- ・ 横浜国立大学、お茶の水女子大学
- ・ 東海大学、日本大学、麻布大学
- ・ 情報通信研究機構(NICT)
- ・ 豊橋技術科学大学
- ・ 福井大学、金沢大学
- ・ 岡山大学
- ・ 九州工業大学、久留米大学
- ・ 福岡工業大学
- ・ 沖縄科学技術大学院大学



37名の研究者を支援

第1期 事業化検討PJ 2024/4-6

1北海道大学	大学院 地球環境科学研究院	教授	小野田晃
2長岡技術科学大学	物質生物工学分野	助教	小松啓志
3福島県立医科大学	医学部 疼痛医学講座	特任助教	松平浩
4情報通信研究機構	未来ICT研究所		Peper Ferdinand
5東京大学	大学院 総合文化研究科	教授	佐藤守俊
6東京科学大学	生命理工学院	教授	上野隆史
7横浜国立大学	先端科学高等研究院	准教授	下谷有希
8東海大学	理学部物理学科	教授	喜多 理王
9日本大学	医学部 細胞再生・移植医学分野	教授	松本太郎
10九州工業大学	大学院 情報工学研究院	教授	斎藤剛史
11東京科学大学	化学生命科学研究所	助教	本田雄士
12沖縄科学技術大学院大学		准教授	Emile Toubert

■GAPファンド申請 6プロジェクト

GTIE エントリー 2件採択
GTIE 海外市場開拓 1件採択

エントリーした研究者	16名
成立したPJ	14PJ
途中終了したPJ	2PJ
参加した経営人材	43名

第2期 事業化検討PJ 2024/11-2025/1

1	横浜国立大学	理工学部 数物・電子情報系学科	准教授	大矢 剛嗣
2	東京科学大学	未来産業技術研究所	助教	山田哲也
3	麻布大学	生命・環境科学部	特任助教	中舘美佐子
4	お茶の水女子大学	コンピテンシー育成開発研究所	教授	山田美穂
5	日本大学	医学部 機能形態学	助教	加藤侑希
6	埼玉大学	大学院理工学研究科	准教授	塩田達俊
7	北海道医療大学	歯学部 薬理学分野	教授	谷村明彦
8	九州工業大学	情報工学研究院	教授	中荃隆
9	信州大学	工学部 物質化学科	教授	酒井俊郎
10	群馬大学	大学院理工学府 電子情報部門	教授	三輪空司
11	福井大学	工学部 工学研究科	教授	藤田聡
12	信州大学	先端材料研究所	助教	大塚隼人

■GAPファンド申請 8プロジェクト

IJIE ステップ1 1件採択
 IJIE ステップ2 2件採択
 TeSH ステップ1 1件採択
 GTIE エントリー 1件採択

エントリーした研究者	16名
成立したPJ	13PJ
途中終了したPJ	1PJ
参加した経営人材	40名

第3期 事業化検討PJ 2025/7-9

1	横浜国立大学	大学院工学研究院	准教授	太田 裕貴
2	日本大学	生産工学部	教授	村田 康一
3	豊橋技術科学大学	コンピテンシー育成開発研究所	教授	柴田 隆行
4	福岡工業大学	工学部 電子情報工学科	教授	盧 存偉
5	福岡工業大学	総合研究機構	教授	森山 聡之
6	芝浦工業大学	工学部	教授	吉田 慎哉
7	芝浦工業大学	工学部	教授	二井 信行
8	岩手大学	理工学部	助教	西川 尚宏
9	北海道大学	大学院 地球環境科学研究院	教授	小野田 晃
10	東京科学大学	工学院機械系	教授	齊藤 滋規
11	山梨大学	大学院総合研究部	准教授	井上 久美
12	東京科学大学	未来産業技術研究所	助教	山田 哲也
13	東京科学大学	生命理工学院	教授	黒田 公美

エントリーした研究者	15名
成立したPJ	13PJ
参加した経営人材	31名

第4期 スケジュール(全体)

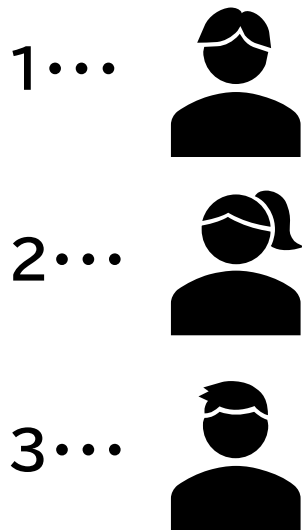
	10月					11月					12月					1月					2月				
	1W	2W	3W	4W	5W	1W	2W	3W	4W	5W	1W	2W	3W	4W	5W	1W	2W	3W	4W	5W	1W	2W	3W	4W	5W
参加募集	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
マッチング	□	□	■	■	■	■	■	■	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
プロジェクト活動	□	□	□	□	□	□	□	□	□	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
最終報告会	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	●
GAP FUND STEP2	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	■	■	■	■	■	■	■	■	□	□	□	□	□

経営人材と研究者のマッチング方法

以下のステップで事業化検討プロジェクトを組成します。

①一次エントリー・面談

経営人材が興味のある研究者を3名選んでエントリーします。研究者毎にオンラインでのグループ面談を実施。技術の詳細理解と用途に関するブレストを行います。



②最終エントリー・人選

グループ面談を経て、協働したい研究者2名にエントリー。エントリーのあった経営人材から2～3名をKSPと相談の上、メンバーとして人選



③プロジェクトのキックオフ

経営チーム、メンターと共にプロジェクトをキックオフ。初回は大学を訪問し、ラボ見学などを行います。



第4期 スケジュール(マッチング)

▼10/13~22

1次エントリー

サイト上から研究概要を閲覧の上、興味のある研究者3名を投票

▼10/23~11/6

マッチング面談

研究者と経営人材とのオンライン面談。18:30-20:30に実施。
研究内容の詳細説明とQ&A、事業アイデアのブレストを予定

▼11/7~16

最終エントリー

面談結果を参考に、希望するプロジェクトを2つ投票

研究者・KSPとで2~3名のメンバーを決定

▼11/17~28

メンバー選定

第4期事業化検討プロジェクト参加にあたり

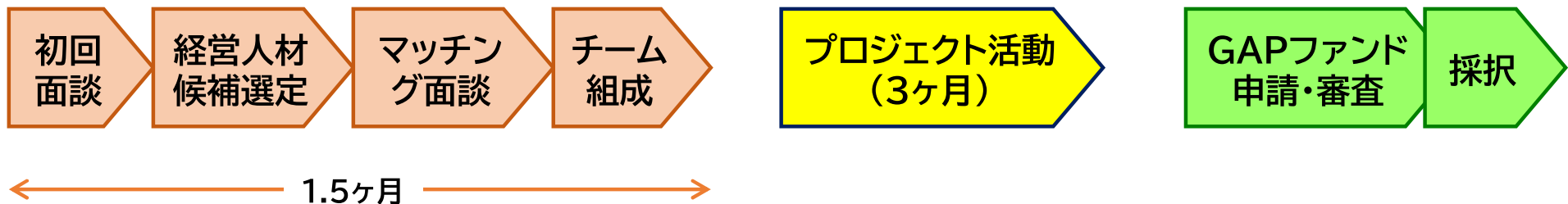
研究者・URA、経営チーム、KSPスタッフがチームを組んで事業化シナリオを作成。

GAPファンド申請の際は、事業化推進機関として継続的にサポートします

<支援内容>

- 研究テーマに興味をもつ経営人材をご紹介します、経営チーム組成します。
- チームでの3ヶ月間の事業化検証とプロジェクト運営サポート
- GAPファンド申請の際は、KSPが事業化支援機関として申請書のブラッシュアップを共同で実施
- 採択された場合はチームを維持しながら、起業への準備を加速。更なる大型ファンドへの申請、起業後の出資も視野に入れて活動を行います。

<活動イメージ>



最後に

- GAP FUND採択やスタートアップ起業は目的ではなく、あくまでも手段
- 本プログラムの目的は、**研究成果を起点とした事業構想を描き、事業として継続できる道筋を示すこと**
- 短期間で急成長するスタートアップも、VCからの資金調達も、日本社会の中では少数派であり、いたずらに事業規模の拡大を企図するのは社会実装の本質ではない

お問合せ、申込先

研究成果の社会実装や大学発スタートアップを目指す研究者、
大学関係者の方々を広く募集しています。

https://kspdeep.tech/acad_entry/



株式会社ケイエスピー インキュベート投資事業部
スタジオ事業担当 info@kspdeep.tech